

令和3年1月8日

茨城県知事 大井川和彦様

茨城県看護連盟
会長 山本かほる



公益社団法人 茨城県看護協会
会長 白川 洋子



新型コロナウイルス感染症対策に係る看護現場からの緊急要望の提出について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
日頃より本会に対しまして、格別のご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。
標記の件につきまして、別添のとおり緊急要望いたしますので何卒ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

問い合わせ

公益社団法人 茨城県看護協会 電話029-221-6900
茨城県看護連盟 電話029-225-3992

令和3年1月8日

茨城県議会議長 常井洋治様

茨城県看護連盟

会長 山本かほる



公益社団法人 茨城県看護協会

会長 白川 洋子



新型コロナウイルス感染症対策に係る看護現場からの緊急要望の提出について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本会に対しまして、格別のご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

標記の件につきまして、別添のとおり緊急要望いたしますので何卒ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

問合わせ

公益社団法人 茨城県看護協会 電話029-221-6900

茨城県看護連盟 電話029-225-3992

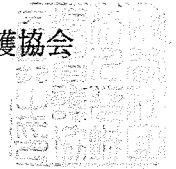
令和3年1月8日

茨城県議会保健福祉医療委員会委員長
岡田拓也様

茨城県看護連盟
会長 山本かほる



公益社団法人 茨城県看護協会
会長 白川 洋子



新型コロナウイルス感染症対策に係る看護現場からの緊急要望の提出について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
日頃より本会に対しまして、格別のご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。
標記の件につきまして、別添のとおり緊急要望いたしますので何卒ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

問合わせ

公益社団法人 茨城県看護協会 電話029-221-6900
茨城県看護連盟 電話029-225-3992

新型コロナウイルス感染症の看護現場への実態調査結果

公益社団法人茨城県看護協会 茨城県看護連盟

1 目的

11月から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症が医療・看護現場にどのような影響を及ぼしているか実態を把握し、茨城県・県議会議員へ届け予算要望につなげる。

2 調査期間

令和2年12月8日から11日

3 調査対象施設

- ① 茨城県看護協会に入会している水戸・日立・常陸太田・ひたちなか市の17施設
- ② 茨城県看護連盟に入会している看護管理者及び支部長等 23施設（感染症指定病院、重点医療機関、感染症指定以外病院）

4 調査方法

- ① 令和2年度地区意見交換会（水戸・日立・常陸太田・ひたちなか）
- ② メールによる文書での回答 自由記述

5 回答施設

- ① 意見交換会に参加の17施設
- ② 感染症指定医療機関4、重点医療機関1、感染症指定医療機関等14

6 結果

1) 看護職員の退職者の急増

→11月～12月：13名（1月3名予定 A施設）、主な理由は、COVID-19対応を家族から反対される。

- ・今後も退職者が増えると病棟を回していけない不安
- ・COVID-19病棟や発熱外来対応へ看護師を優先的に配置しているため、一般病棟、外来の看護師が不足（枯渇状態）

→潜在看護師の掘り起こしするための支援補助

2) 看護職員の心身の疲労度が限界、疲弊感がピークを越えている

→定期的なメンタルケアを希望、メンタルケア専門スタッフの派遣

→十分な休暇も取得できない。

→夜勤回数や超過勤務も増加している。

→すべての部署で、職員の安全を管理しているが不安の連続

→他医療圏の COVID 患者も受け入れ、一般診療も縮小しない状況で頑張っている看護職員がこの状況でいつまで持つか不安

→いまだに差別化があり、自粛している医療従事者は閉塞感が高まっているため終息後には優遇措置を要望する。

3) 病院経営が悪化しているため、冬のボーナスが削減、または未定

→夏の賞与は 0.5 か月減、冬は未定、昨年比 0.35 減への補償

→感染症指定医療機関以外の病院でもコロナの対応はしているので、危険手当を一律で支給を要望

4) 重点医療機関としての役割と地域医療との役割分担が周知徹底されていない

→病院、施設、開業医等の役割が一般の医療従事者、一般市民が知らないため現場で説明しても誤解など理解されないため時間がロスされている。

5) 社会とのギャップがモチベーションを下げている

→GO TO トラベル・イート等の社会の動きとは裏腹に、医療従事者は行動を制限・自粛されている。

「こんなに働いているのに」「どこへもいけない」「もし感染したらみんなに迷惑がかかる」「自分達が濃厚接触者にならないように感染しないようにひっそりと生活している」医療従事者の事を考えてほしい。

6) 保育所等の受け入れの優先的な配慮、院内独自の学童保育を開設

→年末年始にかけても継続的に保育施設が利用できるよう要望する。

→学童保育を院内で開設しているため補助金を検討してほしい。

7) 医療用物資の不足

→フェースシールド、ガウンの不足（指定医療機関）

→使い捨て手袋が入手困難

→医療用物資の高騰（マスクの購入価格がコロナ前より 15 倍）のため定期的な支給を要望

→手術用術衣の補充がなく、布の術衣で代用

8) 看護学校、学生への対策

→新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い 2 月に行われる看護師等国家試験を東京での受験は不安があるため、茨城県内で受験できるよう対応してほしい。

→感染予防対策のための消毒液等の物品購入への補助

→県外からの通学生に対しての配慮（茨城県内に住むことなど）の必要性

→実習先施設より、学生に PCR 検査を受けるように言われたため対応に困っている。

9) ゾーニングに対して不安

→有熱者への指導、一人暮らしの高齢者への適正な指導方法の必要性

10) その他

→夜間発熱外来に、受診患者が多く詳細な問診や検査など、少人数での対応が困難の状況。日中の受診方法の周知徹底を県民へお願いしたい。

→PCR 検査を受けやすい社会の仕組み作りをしてほしい。

→面会用のタブレットなどの購入を検討してほしい。(高齢者はスマホを持っていない方が多い)

→スタッフ集合教育が計画通り実施できない。

→感染症発生届は電子登録できるようになったが、検査票の電子登録を希望する。